

1. 大会名称

令和6年度 インディペンデンスリーグ四国

(兼 第22回インディペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバル四国地区予選会)

2. 主催

一般社団法人四国サッカー協会 四国大学サッカー連盟

3. 主管

一般社団法人高知県サッカー協会 一般社団法人愛媛県サッカー協会

一般社団法人香川県サッカー協会 一般社団法人徳島県サッカー協会

4. 期日

令和6年5月5日(日)～10月20日(日) 原則、期日内開催

5. 会場

別途、日程表に定める。

6. 参加資格

(公財)日本サッカー協会並びに(一財)全日本大学サッカー連盟に登録されている単独大学を以て構成されたチームであって、次の資格を有するチームに限る。

- (1) 当該年度(公財)日本サッカー協会並びに(一財)全日本大学サッカー連盟に登録手続きを完了し、会費納入済のチームに限る。
- (2) チームを構成する選手の中に外国籍を有する選手を含む場合は、大会エントリー30名中5名以内とし、試合エントリー・出場とも常時5名以内とする。また、(公財)日本サッカー協会が定める準加盟チームについてはこの限りではない。
- (3) 参加する選手は(公財)日本サッカー協会並びに(一財)全日本大学サッカー連盟に登録済みの者に限る。また、(公財)日本サッカー協会選手証を携行しなければならない。
- (4) 出場資格に疑義のある場合は、四国大学サッカー連盟理事会で協議し、全日本大学サッカー連盟に報告を行う。

7. リーグ編成・資格

本連盟に属する全大学に参加資格を有するが、2部の大学から参加希望があった場合は別途検討する。

- (1) 当該年度以下に加盟している大学チームおよび登録選手に限る。

(公財)日本サッカー協会、(一財)全日本大学サッカー連盟ならびに四国大学サッカー連盟

- (2) 大会趣旨に基づき、本連盟に加盟する1大学から複数チームの参加を可とする。複数チームが参加の場合は、選手登録数が以下の基準を満たすこと。

<大学チームの複数チーム参加基準>

※ 本連盟主催以外のリーグ等に登録している者は除く。

39名以下 1チーム

40名以上～69名以下 2チーム

70名以上～99名以下 3チーム ※以降、30名毎に1チーム設けることができる。

- (3) 大会趣旨に基づき、トップチームのフィールドプレーヤーに対して、以下の登録制限を設ける。(ゴールキーパーについては登録制限しない。)

<トップチームの定義>

※ 大学チームにおける最高水準の競技力を保持するチーム

虚偽申告が判明した場合、当該年度の勝点剥奪、出場の取り消し、場合によっては次年度以降の資格剥奪等、主催者側の決定に従う。

<四国大学リーグ戦出場時間による制限>

四国大学リーグ前期180分、後期180分までの出場者(リーグが日程どおり開催されている場合のみ)

四国大学リーグおよびインディペンデンスリーグ四国の試合において年度当初8月末までに予定されている試合を前期として扱い、それ以後の試合を後期扱いとする。

直近の四国大学リーグに45分までの出場者

※公式記録をもとに出場時間を算出する。ただし、GKについては怪我などの特別な事情でチームにIリーグ出場資格のあるGKがいない場合にのみ四国大学リーグ戦出場時間の制限に関わらずIリーグに出場することを認める。ただし、事前にその旨をIリーグ参加全チームに周知して了承を得ること。

- (4) Iリーグ登録と移籍については以下のとおり定め、選手登録・追加は試合日の3日前までとする。

初回選手登録として、チームは所定の用紙に必要事項を記入し、令和6年5月2日15時までにIリーグ参加大学にメールすること。

複数チーム間での移籍は以下のとおりとする。

①8月10日～8月末日17時まで ②Iリーグ最終節～決勝トーナメント3日前まで

各試合のエントリー選手は11名以上20名未満とする。

- (5) チームの中に外国籍を有する選手を含む場合は、大会登録人数中5名以内とし、試合エントリー試合出

場とも常時 3 名以内とする。

(6) 参加資格に疑義のある場合は、本連盟で審議し決定する。

## 8. リーグ順位決定

試合の勝者は 3 点、引分けは 1 点、敗者は 0 点の勝点が与えられ、勝ち点の多い順に順位を決定する。

ただし、最終の合計勝点が同一の場合には、以下の順序により決定する。

(1) 全試合のゴール・ディフェレンス(総得点－総失点)

(2) 全試合の総得点の多いチーム

(3) フェアプレーポイント

(4) 該当チームの対戦成績(1 勝 1 敗の場合は当該チームの試合の 1)、2)の順序により決定する)

(5) 上記 4 方式においても順位が同一の場合で順位を決定する必要がある場合は、当該チーム同士の再試合において決定する。

### <フェアプレーポイント>

試合毎に各大学持点 3p

減点：一発退場 - 3p(審判等に対する暴言による退場は-4p)

警告 - 1p(審判等に対する異議による警告は-2p)

加点：試合毎で選定されるピースプロジェクト折り鶴賞獲得(フェアプレー)チームには 1pを加算する。

※折り鶴賞は、各試合を担当した審判団により、フェアプレーチームを選出してもらい、両チームとも警告を受けた場合は該当なしとする。警告がなくとも双方に望ましくない言動などあれば該当なしとする。

※不測の事態で延期が相次いだ場合でも、最終延期日は11月4日までとする。(決勝トーナメント含む)

## 9. 試合方法等

(1) リーグ戦は総当り 1 回戦で行い、決勝トーナメント進出チームを決定する。上位による決勝トーナメントは、出場チーム数によって勝ち上がるチーム数も異なり、リーグ上位アドバンテージとして、90分で勝敗が決しない場合は、リーグ上位を勝者とする。決勝トーナメントで確定した順位が最も高いチームから順にインディペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバルに出場する権利を有する。

(2) 試合時間は、90 分とし、延長戦は行わない。

(3) 試合の競技規則は当該年度(公財)日本サッカー協会規定の競技規則による。

交代人数：競技開始前に登録した最大 9 名までの交代要員の中から 7 名までの交代が認められる。

交代回数：交代回数は 3 回を限度とする。GK の怪我による交代やハーフタイムの交代は回数に含まない。

(4) 試合中主審により退場(同一試合警告 2 回での退場含む)を命じられた選手は、本大会(全国大会含む)の次の 1 試合に出場することができない。本大会のその後の処置については、本連盟理事会及び本連盟規律会に於いて決定する。また、本大会で出場停止試合が消化できなかった場合は、直近の公式戦(本連盟主催)にて消化する。当該年度内で消化できなかった場合は、次年度に繰越し、消化できず他チームに移籍する場合は、移籍先のチームが属するリーグ等で消化する。

(5) 累積警告 2 回となった者は、自動的に本大会の次の試合に出場することができない。

(6) 累積警告での出場停止及び累積された警告は、本予選会を持って効力を失う。

(7) ベンチに入ることができる人数は交代要員 9 名、チーム役員 7 名の 16 名とし、メンバー提出用紙に特定されなければならない。

## 10. ユニフォーム

(1) ユニフォーム(シャツ、パンツ、ストッキング)は正のほか副として正と異なる色のユニフォームを登録表に掲載し、必ず携行すること。

(2) 原則としてホームチームを正のユニフォームとする。

(3) 審判と同一または、黒色に類似するユニフォームを用いることはできない。

(4) ストッキングに巻くテープはストッキングと同色とし、ストッキングを切って使用する場合は、その下に履くものも同色とするか、それが適わない場合は見えないようにストッキングと同色のテープを巻くこととする。

## 11. 大会使用球

MIKASA FT550B-YP-JUFA

## 12. 表彰

【チーム】優勝 賞状・優勝杯、2 位 賞状 3 位 賞状(優勝-3 位の賞状、優勝杯は全日本より)  
フェアプレー賞

フェアプレーポイントにより決定する。ただし、ポイントにより決しない場合は以下のとおりとする。

①警告の枚数、②折り鶴賞の回数、③直接対決の折り鶴賞の獲得状況にて決定し、それでも決定しない場合は、リーグ上位をフェアプレーチームとする。

優秀運営チーム(リーグ終了後、各チームからの投票・意見のうえ決定する。ただし、自チームに投票することはできない。)

【個人】最優秀選手、優秀選手

得点王(1 試合平均 0.6 点以上)、アシスト王(1 試合平均 0.4 アシスト以上)

ベストレフェリー賞(リーグで審判評価が高い者で決勝トーナメントの主審を行い、評価が高い者)

※個人表彰は、出場停止処分があった選手は表彰対象にならない。(得点王とアシスト王は除く)

### 13. 懲罰

本大会は、JFA「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設置し、本大会における懲罰事案・裁定事案については、大会規律委員会で懲罰案を起案し、日本FA規律委員会から懲罰権の委任を受けた四国FA規律委員会が懲罰を科すものとする。

### 14. 審判派遣制度

1 チームにつき、3 級審判員 1 名以上、4 級審判員 2 名以上を本大会に登録させなければならない。主審は 3 級以上の審判員であることが望ましいが、それが適わない場合は、自大学の監督またはそれに代わる代表者に確認のうえ、責任をもって派遣すること。上記を満たしていない大学に関しては原則参加を認めない。

但し、新規参入チームについては別途、大会本部で協議のうえの決定するものとする。

- ・審判は原則、出身大学の所在県の試合を担当する。
- ・自大学の審判は割り当てないように配慮する。これが適わない場合は、当該対戦チーム同士で審判を行う。
- ・当該対戦チームで審判を行う場合は、組合せの左が主審と A2、右が A1 を担当する。
- ・審判を担当する者は大会開催前に、規律・フェアプレー委員会のまとめる審判登録派遣制度に登録する。(登録なく審判を行った場合、審判評価が反映されず、ベストレフェリー賞の対象とされません。)

### 15. その他

- ・命にかかわる重大な事案が発生した場合に備えて、保護者の連絡先一覧を必ず試合に携帯すること。
- ・自然災害、交通事故等で移動が困難な場合は、試合を遅延もしくは延期にすることがある。なお、その場合は、緊急時連絡先(理事長または事務局長)に連絡をする。
- ・雷等による試合中止の取り扱いについては、原則、中止時点からの試合再開をする。
- ・試合を遅延する場合は、原則 30 分まで(ただし、会場確保状況による)とする。
- ・大会期間中の事故等について、主催者側は一切責任を負わない。万々に備えて傷害保険に加入しておくこと。
- ・各チームは、当該年度の選手証を必ず持参すること。
- ・運営大学は、リーグ戦の結果を試合終了後 3 時間以内に四国内の各新聞社並びに全大学に報告すること。

### 16. 参加費

60,000 円(不足の場合は追加で徴収する場合がある)

※ 大会終了後、12 月末までに精算する。

### 17. 参加申込

<大会参加意思表明>4月20日までに参加チーム数と合わせて連絡すること。

- ①参加申込書に登録できる選手数は 30 名とする。
- ②参加申込期限後における選手の変更は、試合 3 日前 15 時までに選手変更届を提出すること。
- ③参加申込書の背番号は、番号と同様に若い番号順に記入のこと。
- ④所定の参加申込書に必要事項を記入の上、データ形式にてメールのみで申し込み。
- ⑤参加申込締切後の背番号変更はできません。ただし、ユニホームの破損等による変更は可とする。
- ⑥派遣する学生審判員は、各試合のエントリー締切(3 日前 15 時)までに、各大学の学生審判部が責任を持って提出すること。

【申込期限】 令和6年 5 月2日(木)15:00 必着

### インディペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバル出場規定

- (1) (公財)日本サッカー協会(以下「JFA」という)及び(一財)全日本大学サッカー連盟(以下「本連盟」という)に登録されている単独の大学生で構成されたチーム
- (2) 当該年度、JFA 及び本連盟に登録を完了したチーム及び選手・スタッフ
- (3) 「I リーグ 2024【北海道】/【東北】/【北信越】/【関東】/【東海】/【関西】/【中国】/【四国】/【九州】」の参加大学に所属している選手に限る。原則各地域 I リーグに未登録選手は本大会にエントリー・出場する事ができない。尚、選手登録は各地域の最終追加登録日を基とし、追加登録を含めてチーム間移籍は認めない
- (4) トップチームの公式試合において当該年度合計 135 分以上の試合出場または合計 3 試合以上の試合エントリーをした選手は本大会に参加することができない。尚、試合エントリーとは、先発または控え選手としてベンチ入り登録をすることを指す。
- (5) 総理大臣杯の開幕以降にトップチームの試合にエントリーされた選手は本大会に参加することができない
- (6) 大学選手権の初回エントリーにおける選手の二重登録は、一切認めない。ただし、大学選手権への追加登録は認める

- (7) チームを構成する選手の中に外国籍を有する選手を含む場合は、大会エントリー30名中5名以内とし、試合エントリー・出場ともに常時5名以内とする。また、JFAが定める準加盟チームについてはこの限りではない
- (8) 本大会への参加チームの決定に際し、各地域大学サッカー連盟は本参加資格に記載の参加資格を参加チームが遵守していることを確認する義務を負う
- (9) 参加資格に疑義のある場合は、本連盟理事会にて決定する

※ 上記を満たしたメンバーを全国大会では15名以上登録しなければなりません。